

研究計画概要

助成年度・種別	2026年度 一般研究助成
研究代表者	金子 泰之
所属	静岡大学
研究テーマ	生徒に対する教員の不適切な指導を予防する学校組織要因の解明
研究計画概要	<p>学校現場における教員から児童生徒に対するわいせつ行為や体罰等、児童生徒の人権を侵害する不適切な指導の発生を未然に防ぐことができる組織的環境の構築に向け、教員同士の関係性や職場風土の実態を捉えることを目的とする。</p> <p>教員同士が互いに意見表明しやすく連携できる組織であることや、互いに信頼し合い情報共有や助け合える職場環境であることが、不祥事が起こりにくい学校組織となるという仮説のもと、教員組織の実態把握のための調査を行う。</p> <p>具体的には、公立高校に勤務する教員を対象とし、教員同士の連携の程度や情報共有のしやすさ、職場における同僚との関係性、中堅教員のリーダーシップ、同僚に対する見て見ぬ振りとして組織的沈黙等の変数に着目する。これらの変数が、高校ごとにどのように異なるのか、学校ごとの比較から違いを明らかにする。</p> <p>このアンケート調査を通じて高校における教職員組織の実態を横断調査と縦断調査の2つから把握する。得られた知見をもとに、教員不祥事の予防に資する学校組織のあり方について探索的に検討する。</p>
選考委員からのコメント	<p>わいせつ行為、体罰、ハラスメントなど、教員の不適切行為を、教員個人に由来する特性から解明しようとするのではなく、組織的沈黙をキーワードに組織要因によって解明しようとしている点に、本研究課題の意義と可能性を認める。方法は、質問紙による縦断的なアクションリサーチである。生産性の高い研究組織であることから着実な成果の生産が期待できる。特に、現実の問題解決に資する知見の発信を期待したい。</p>